

岩見沢市子ども・子育て支援セミナー開催報告

子ども・子育てプランの成果とこれからの課題

プログラム

開 会

主催者あいさつ 岩見沢市教育委員会 社会教育・子育て支援担当次長 所 美穂子

第1部

16:05-16:25 岩見沢市子ども・子育てプランの成果とこれからの課題
岩見沢市教育委員会子ども課主幹 中川 和彦

第2部

16:30-17:20 講話「子どもひとりを育てるには、1つのまちが必要です」
平野 直己氏
(北海道教育大学札幌校臨床心理学研究室)

閉 会

○来場者 80名

○第2期岩見沢市子ども・子育てプラン（案）
について 来場者アンケートより

- ・少子化が激しい。しかし、子育て世代が子どもを保育園に預ける需要は間違いなく増えていると思う（母親の仕事の従事によって）
- ・保育士の減少により、保育士の負担が多く、そのうえ保護者によるクレーム等が多いと保育士のやる気が無くなってしまいう事がたまにあります。クレーム等の処理などを受け付けてくれる場があると助かります。
- ・岩見沢市の子ども子育てについて行政を進める立場での骨子案は大変参考になりました。市では十分に対策を考えていることがわかりましたが、岩見沢市で独自のプランで他市村より魅力あるプランをだして、空知の中核都市としてふさわしいまちづくり（子育て）を考えて欲しい。
- ・市民が子ども支援..子どもを中心としたまちづくりをやりたいと思った時に、どうしたらよいか何ができるかなど話しあえる気軽な場はありますか。

○第2部の講演について 来場者アンケートより

- ・とっても楽しくてタメになる講演でした。大きな輪！ぜひ作りたいですね。
- ・社会に投げ出され放り出される人々が多くなってきているとの指摘を実感しています。
- ・いつもながら平野先生のお話は心にしみます。コミュニティの大切さを改めて考えさせられました。次回も期待しています。
- ・大変価値のある、楽しくてためになるお話で感激しました。特に幼少期の子育てのポイント、結婚しない世代、ふり返りの問いかけが大切..本当に来てよかったです。先生に感謝です。
- ・ためになる勉強会でした。とても良かったです。こういう機会があればまた来たいです。



子どもの学びと育ちに大切な5つのこと

- ①「子どもと顔を合わせること（みつめあうこと）」
- ②「子どもを支える（かかえること）」
- ③「大人と子どもの関係構築（ともにみること）」
- ④「子ども同士の関係構築支援（つなぐこと）」
- ⑤「子どもに意見を求め、受け止める（問うこと）」